様式30

 火薬庫工事設計明細書（３級火薬庫）

１．火薬庫の位置及び付近の状況は、別図による。

２．保安物件との距離

 (1) 最大貯蔵量（規則第20条第３項の規定を計算式で明示すること。）

 （ ） （ ） （ ）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  爆薬区分 | 25 | ＋ | 　50 |  ＋ |  |  ＋ 　　 ≒（ ）≦１ |

 （ ） （ ） （ ）

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  火工品区分 | 40,000,000  | ＋ |  |  ＋ |  |  ＋ 　 ≒（ ）≦１ |

 (2) 火薬庫から保安物件までの保安距離は、下記の事項及び付近の状況図による。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  　保安物件の種類 　（法定距離） | 保安物件名 | 方角及び距離 |
|  第　 １ 　種 （ 　ｍ） |  |  |
|  第　 ２ 　種 （ 　 　ｍ） |  |  |
|  第　 ３ 　種 （ 　 　ｍ） |  |  |
|  第　 ４ 　種 （ 　 　ｍ） |  |  |

３．火薬庫の構造及び設備

　(1) 火薬庫、土堤、防火設備及び警戒設備の全体設置計画は、火薬庫施設設置図による。

 (2) 火薬庫の構造等は、下記の事項並びに立体図、平面図、側面図、断面図、配筋図、基礎図（床下のコンクリート打ち及び隔壁と一体をなすもの）及び小屋組図による。

|  |  |
| --- | --- |
|  　項　　　　 　目 |  火薬庫 |
|  壁 　　 |  全　　面 隔　　壁 その他　　 |  無筋コンクリート造り、厚さ(　　　　　)cm ( )造り、厚さ(　　　　　)cm ( )造り、厚さ(　　　　　)cm |
|  盗難 防止 措置 |  設置場所 |  天井裏　・　屋　根 |
|  種 類 |  金　網　・　有刺鉄線 |
|  鉄線の直径 |  （ ）mm 、（ ）番線 |
|  網目の直径 |  （ ）cm |
|  小屋組及び屋根 |  木　　造 ・（ ）葺 |

 (3) 入口の２重扉、床、通気孔の構造等は下記の事項並びに建具図及び設置図による。

|  |  |
| --- | --- |
|  　項　　　　 　目 |  爆薬庫 |
| 内扉 |  構　　造 |  木製、引戸、片開・両開 |
|  錠の種類 |  |
|  外 扉 |  本 体 |  構 造　　 |  鉄板製、引戸・開戸、片開・両開 |
|  寸法(mm) |  幅( 　　 ) 高( 　　 ) 厚( 　　 ) 見込(　　 ) |
|  補強用ｱﾝｸﾞﾙ(mm) |  縦( 　　 ) 横(　　 ) 厚(　　 ) |
|  合わせ目 |  隙間( )mm 目隠し( )mm |

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  外 扉  耐 火 扉  |  蝶 番 |  種　　類 |  角　　　　蝶　　　　番 |
|  長さ及び数 |  ( )mm ( )カ所 |
|  心棒が抜けない加工措置 |  |
|  取付方法 |  |
|  ロ ッ ト 棒 |  取付箇所 |  蝶番側の扉側面 |
|  取付数 |  上部( 　 )本、下部( 　 )本 |
|  直径及び材質 |  ( )mm 炭素綱 |
|  長さ及び取付寸法 |  ( )mm 電気溶接 |
|  扉枠の固定方法 |  |
|  錠 |  種　　類 |  面付ﾚｼｰﾊﾞｰﾀﾝﾌﾞﾗｰ本締錠･ｼﾘﾝﾀﾞｰ本締錠(面付･堀込) |
|  ﾃﾞｯﾄ ﾎﾞﾙﾄ |  材質 |  ステンレス綱・焼入炭素綱 |
|  長さ |  ( )cm |
|  かんぬきの鉄棒 |  直径( 　 )mm 長さ(　 )mm |
|  内面の板張り |  床面に鉄類を表さない。 |
|  コンクリート打ち |  基礎と一体となるコンクリート打ち |
|  床の高さ |  地盤面から( )cm |
|  通 気 孔 |  幅及び数 | 　( )cm ( )カ所 |
|  金 網 |  鉄線の直径 |  ( )mm ( )番線 |
|  網目の直径 |  ( )cm |
|  鉄棒(幅20cm以上の場合) |  直径(　 )mm 間隔( 　 )mm |
|  換気孔の取付数 |  天井( 　　 )個、両つま(各　　　個) |

 (4) 土堤又は簡易土堤の構造等は、下記の事項並びに正面図、平面図、断面図及び施設設備図による。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  　項　　　　 　目 |  土堤 |  簡易土堤 |
|  堤脚から外壁までの距離 |  ( )ｍ |  |
|  勾配及び高さ |  ( )度 屋頂以上( )ｍ |  |
|  頂部の厚さ及び堤面の覆い |  ( )ｍ ( 　　 ) |  |
|  堤脚の土留の高さ及び材料 |  ( )ｍ 土留(　 　 ) |  側壁板( 　 )支柱( ) |

 (5) 警鳴装置の構造等は、下記の事項並びに電気配線図、仕様書及び設置図による。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  項　 　　 　目 |  警鳴を発する装置 |  警報を発する装置 |
|  メーカー及び型式 |  |  |
|  設置場所 |  火薬庫の外壁・付近（ ） |  火薬庫の外壁・付近（ ） |
|  本 体 |  外 函 |  鉄板製、厚さ( )mm |  鉄板製、厚さ( )mm |
|  錠の種類 |  |  |
|  開口 部の 防護 措置 |  雨･雪の進入 |  |  |
|  虫類の進入 |  |  |
|  回路の外部接触 |  |  |
|  警報部の外部接触 |  |  |
|  警報 器 |  種類 |  ｻｲﾚﾝ ･ ﾌﾞｻﾞｰ ･ ｽﾋﾟｰｶｰ ･ ﾍﾞﾙ |  ｻｲﾚﾝ ･ ﾌﾞｻﾞｰ ･ ｽﾋﾟｰｶｰ ･ ﾍﾞﾙ |
|  警報等の始動及び音量 |  扉（開放・振動）( )ﾃﾞｼﾍﾞﾙ |  扉（開放・振動）( )ﾃﾞｼﾍﾞﾙ |
|  回 路 |  庫内電流 |  爆薬庫( )A 火工品庫( )mA |  |
|  切断対策 |  警鳴を発する・金属管で保護 |  警鳴を発する・金属管で保護 |
|  保安装置 |  避雷器・ヒューズ( )mA |  避雷器・ヒューズ( )mA |
|  テスト装置 |  スイッチ式 |  スイッチ式 |
|  電 源 |  電池(電圧の消耗状況) |  メーター・表示灯 |  メーター・表示灯 |
|  交流(停電時の措置) |  予備電池に自動切り替え |  予備電池に自動切り替え |

 (6) 注水設備及び夜間点燈装置は、下記の事項並びに施設設置図による。

|  |  |
| --- | --- |
|  　項　　　　 　目 |  火薬庫 |
|  注水設備 |  |
|  夜間点燈装置 |  有（施工図及び設置図による。）・無 |

４．貯蔵上の取り扱い

 (1) 最高最低寒暖計を爆薬（火薬）室内に設置する。

 (2) 火薬類の貯蔵は、下記の事項及び別図による。

　 火薬類の最大貯蔵量（外装の寸法による計算式を明示すること。）

 爆薬（火薬）室内

 火工品室

 (3) その他の取扱いは、火薬類取締法施行規則第21条の規定による。

５．火薬類取扱保安責任者の選任予定（保安手帳持参）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  区　　　　分 |  氏　名(年齢) | 　免状の種類 |  保安手帳番号 |
|  取扱保安責任者 |  　　 ( ) |  ( )種取扱免状 |  |
|  同代理者 |  　　 ( ) |  ( )種取扱免状 |  |

 選任届書は、火薬庫完成検査申請書と同時に提出します。

６．火薬庫竣工予定

 　　　　　年 月 旬